

令和3年度
白山市こども食堂
～子どもの居場所づくり～



白山市社協マスコットキャラクター
「ふくちゃん」





目次

ごあいさつ	P1
コロナ禍での「こども食堂」の紹介	
・いしかわスマイルカフェ	P2
・絵日記こども食堂みやぼ町店	P4
・介護予防サロン福蝶とキッズカフェ	P6
・ばあちゃん食堂とふれ愛サロン	P8
・ふくちゃん青春食堂	P10
参加者からのメッセージ	P12
こども食堂を応援！～フードドライブ～	P14
こども食堂ネットワーク支援研修会	P15
白山市こども食堂支援（補助金）	P16

ごあいさつ

日頃より、各地域において、こども食堂の運営等にご尽力をいただいておりますこと、また、昨年度に引き続きコロナ禍での開催が難しい状況の中、団体それぞれが感染防止対策を徹底したうえで運営されていることに対し、感謝と敬意を申し上げます。ありがとうございます。

さて、白山市こども食堂は、平成28年度より、子どもの孤食を減らすとともに、身近な地域において子どもが安心できる居場所づくりを目的として実施してきております。

白山市では、こども食堂事業を実施するグループや団体に運営費の一部を補助したり、『地元応援隊』として登録している食材提供者やボランティアの情報を各運営者に提供し、活用いただいているところであります。

令和2年度より、運営費のほかに子どもと高齢者の世代間交流の機会を設けた場合に、補助金を加算しており、また、令和3年度からは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、補助金の支出基準を年間5回以上から年間1回以上に対象を広げ、開催しやすい環境に配慮させていただいております。

今年度に入り、二つの団体からこども食堂を実施したいとの申し出があり、本市に登録いただいているグループ・団体は13か所となります。

最後に、「こども食堂」の活動が白山市の子育て支援策の一助となりますよう、またそれぞれの地域での支援の輪が広がっていくことをご期待いたしたいと思います。

白山市健康福祉部こども子育て課
課長 中川 真

いしかわスマイルカフェ



～こどもも おとなも たのしく おいしい あさごはん～

月に一度、日曜日の朝はお母さんもお父さんもおじいちゃんもおばあちゃんもゆっくりして欲しい。子ども達には、朝からお腹いっぱい食べて欲しい。そんな気持ちを込めて、日頃から地域の子ども達が遊びに来る児童センターをお借りし、幼児から高齢者が集える「地域食堂」ができました。



西南部児童センターや地元青年団の協力、地元コミュニティクラブによるつながり農園からの野菜提供など、地域の方達からの温かな支援をいただきながら、地区に住む様々な年代が交流できるふれあいの場を作りたいと思います。



運営主体
フレンドシップ

住所
白山市源兵島町 289-5

連絡先（加藤 千恵）
TEL 090-6165-4146
(または西南部児童センター)
TEL 076-277-8225

えにっき しょくどう まちてん
絵日記こども食堂みやぼ町店



心の絵日記に残るような思い出を…

コロナ禍で、行事や旅行に行く機会が少なくなってしまった子ども達に、食事の提供と共に「心の絵日記に残るような思い出を」つくらせていただく事を目的に始めた石川社会貢献部の活動です。

毎月一回、大道芸人さんやハーバリュウムの先生に来ていただいてバルーンアートやお花で作る工作体験を開催してきました。



コロナの感染拡大真っ只中にオープンしたので、食事はお弁当にしてお渡しました。また、換気、3密回避を考え、隣接の工場のシャッターを全開にしてイベントを楽しめるようになっています。空気清浄機やアクリル板衝立等の設備も導入し、安心して利用してもらえるこども食堂となるよう工夫することで、開催日を楽しみに待ってくれる子どもが一杯います。子ども達の笑顔や真剣に工作体験に取り組む姿を見ていると「どんな絵日記を心に描いているのだろう」と思います。そして、大切な1ページになることを願っています。



この日は、
中華丼弁当！



私達は、子ども達のために必要となるのは「生きていくための知恵」と「教育格差を防ぐ事」だと思っています。こども食堂の常設化、そして、子ども達の未来に貢献出来ることを目指しています！



運営主体

石川社会貢献部

住所

白山市宮保町 1138-1

連絡先 (西 哲朗)

TEL 090-7080-2977

FAX 076-287-3779

かいごよぼう
ふくちょう
介護予防サロン福蝶とキッズカフェ



幼児から高齢者まで幅広く楽しめる「食」を通じた世代交流の場

幅広く地域の子どもや高齢者が、安心して行き来ができる、自分自身が必要であることを感じていただける「楽しい」居場所作りとなることを大切にしています。

★子どもだけでなく、大人も楽しめる「居場所づくり」の世代交流。

★大人が、子どもに頑張ってきた事を聞いてもらう。

子どもがこれから挑戦しようとする気持ちを大切にして、声を掛け合えるサロンとして、お互いに必要な時間と空間の場。

★子どもを主とした料理メニューで、大人のアドバイスで安心して調理し、食材を無駄なく美味しく全員で食べる。



防災士による防災の話しや金城大学短期大学部の山田先生を招いての「子育て講話」なども行っています。



おばあちゃん達に、
あったかいコーヒー
を持っていこうね。



コーヒーを
どうぞ♪



コロナに配慮し、手洗い・手指消毒の徹底・うがいの励行・マスク、フェースシールドの着用やペーパー食器を利用するなどの感染予防対策をしてきました。高齢者も子ども達も積極的にコロナ対策を受け入れてください、コロナ禍の中でも世代交流ができるこども食堂の運営を続けることができました。

社会福祉協議会や心ある方々から野菜やお米等をいただき助かりました。楽しみながらいただきました。ありがとうございました。



運営主体

傾聴ボランティア聴蝶
住所

白山市福留町南 1-1771

連絡先 (五郎川 外美江)

TEL 076-277-2823

FAX 076-277-2823

ばあちゃん食堂とふれ愛サロン



ばあちゃん食堂は5年前、ふれ愛サロンは15年前に設立。三世代が共に支え合う町づくりを目指しています。場所は湊町の4.5.6区のふれあいセンターで、130人は入れる広さがあります。開催日には、ばあちゃん食堂、ふれ愛サロンの旗が子ども達や高齢者を迎えてます。

今は、赤い羽根共同募金の助成で購入したアクリル板50台、空気清浄機6台が活躍しています。室内には手洗い、マスク、飛沫ポスターが貼られています。

応援スタッフとして、子供会、ふれ愛サロン、ばあちゃん食堂の20名程の方々に協力していただいています。目的は、高齢者や子ども達の孤食を防ぐことと地域の人達の顔を知ることです。ばあちゃん食堂は夏休み5日間と、ふれ愛サロンは年10回、その内3回は三世代の交流を目的として合同で開催しています。



ばあちゃん食堂、ふれ愛サロンの
キャッチフレーズ
**『みんなで一緒に
ごはんを食べよっ！』**

早くコロナ禍が終息し、これまで恒例となっていたバーベキューや餅つきなど、子どもや地域の方が楽しみにしている行事で笑顔あふれる交流を願っています。



7月

5日間のこども食堂
ラジオ体操後、7時からみんな
で朝食



8月

三世代でバーベキューと
流しそうめん



11月

三世代でおはぎ、きなこ、よもぎ、大根
おろし、豚汁を作り食べる。



3月

新小学1年生、新中学1年生
三世代進級の御祝いの会

おめでとう
ございます！

運営主体

ばあちゃん食堂

住所

白山市湊町4-10

連絡先 (中村喜美子)

TEL 076-278-4847

FAX 076-278-4948

あおはるしょくどう ふくちゃん青春食堂



福祉ふれあいセンターには、充実した調理室やホットできる広い娯楽室があります。月一度の食堂開催日には、学校が終った子ども達が、宿題をしたり食堂で仲良くなったり友達と一緒に遊んだりして楽しいひとときを過ごしています。



また、平日の夕方開催ということもあり親子で参加される方が多く保護者同士の交流の場ともなっています。

「コロナで子どもの遊ぶ場所が限られているから嬉しいです！」という声もあり、コロナ禍での子ども達の遊ぶ場所やいろいろな人とふれあう場が更に求められていることを感じます。

こども食堂応援隊の皆さんから毎月届けられる食材をふんだんに使ったメニューが私達の自慢です。そして、その調理に関わってくださる調理ボランティアさんの協力があって出来上がる食事は、「おいしい」「栄養満点！」と子どもや保護者に大変喜ばれています。

黙食が、子ども達の中でも当たり前となり静かに食事をする姿に寂しさを感じますが、食堂に関わる多くの大人から見守られ安心して過ごせる居場所でありたいと思います。



主任児童委員さんによるマジックショー



緊急事態宣言で、開催できない月には、食材をお渡しました。



運営主体

白山市社会福祉協議会

住所

白山市倉光八丁目 16 番地 1

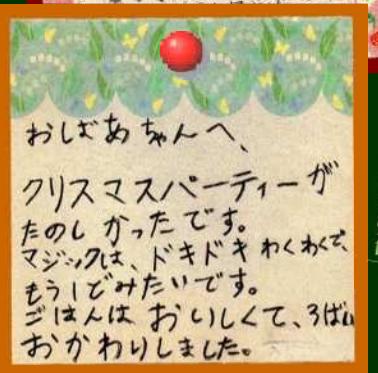
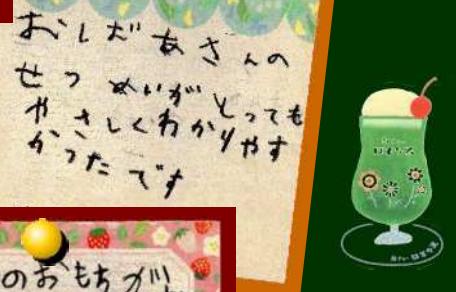
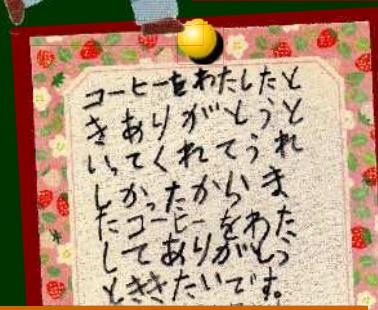
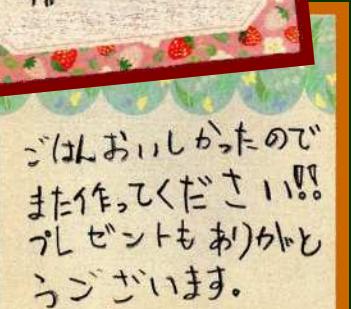
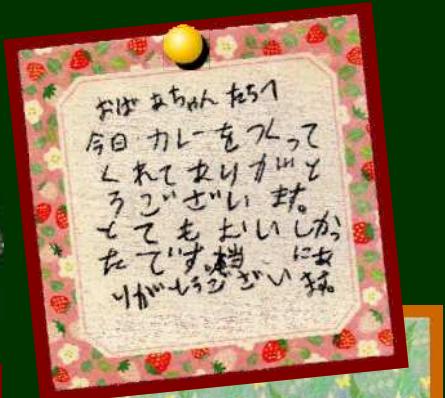
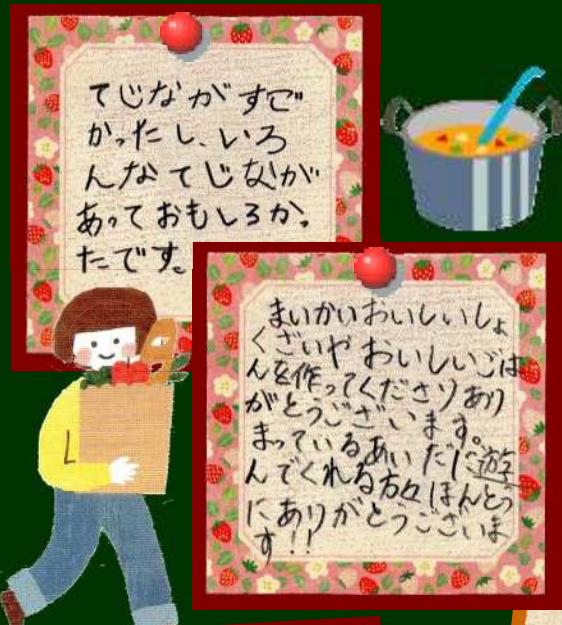
連絡先(白山市社会福祉協議会)

TEL 076-276-3151

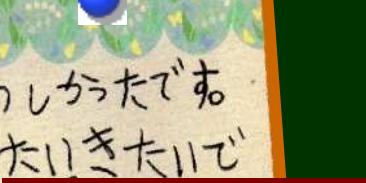
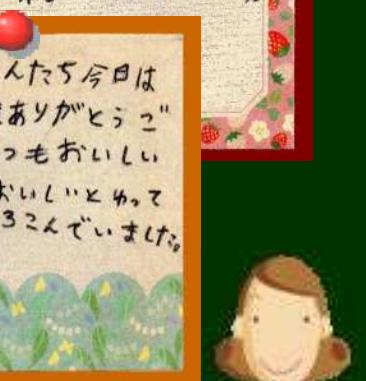
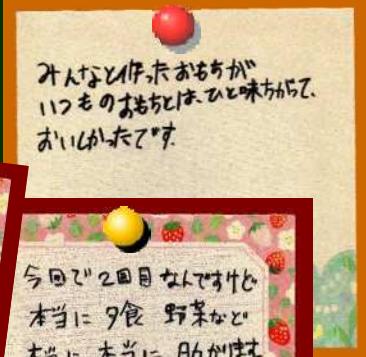
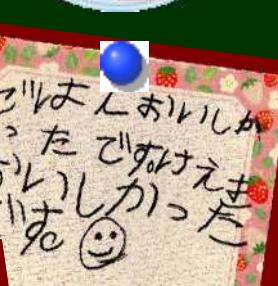
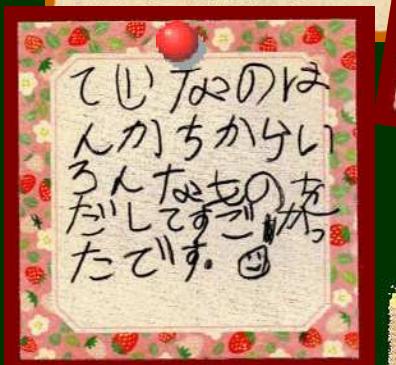
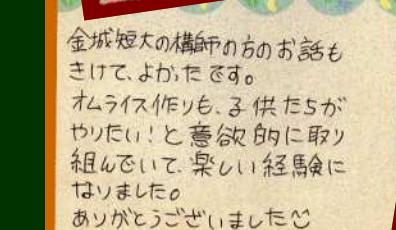
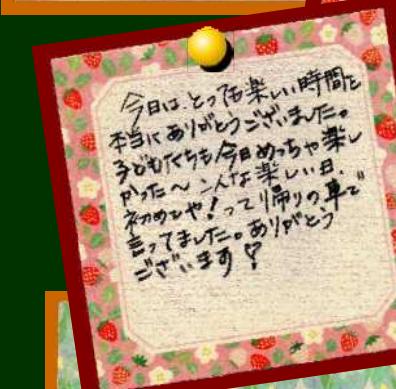
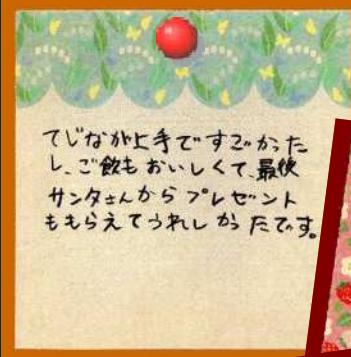
FAX 076-276-4535

参加者からのメッセージ

こども食堂に遊びに来た子どもと保護者のみなさんからいただいたメッセージです。



- 1 2 -



他にも多くの「ありがとう！」「楽しみです」というメッセージが届きました。子ども達の声が、運営者や協力員の元気につながっています。

- 1 3 -

つながるひろがる 白山市こども食堂!!

フードドライブ活動でこども食堂を応援！

J A白山、山島壮年会、加賀野公民館、出城公民館の皆様が、フードドライブで集まった食品を白山市社会福祉協議会にご寄付ください、その一部を市内の「こども食堂」で利用させていただきました。



山島壮年会様のフードドライブ活動



JA 白山

竹内文雄代表理事組合長(左)

白山市社会福祉協議会

村井志朗会長(右)



JA 白山様より寄贈

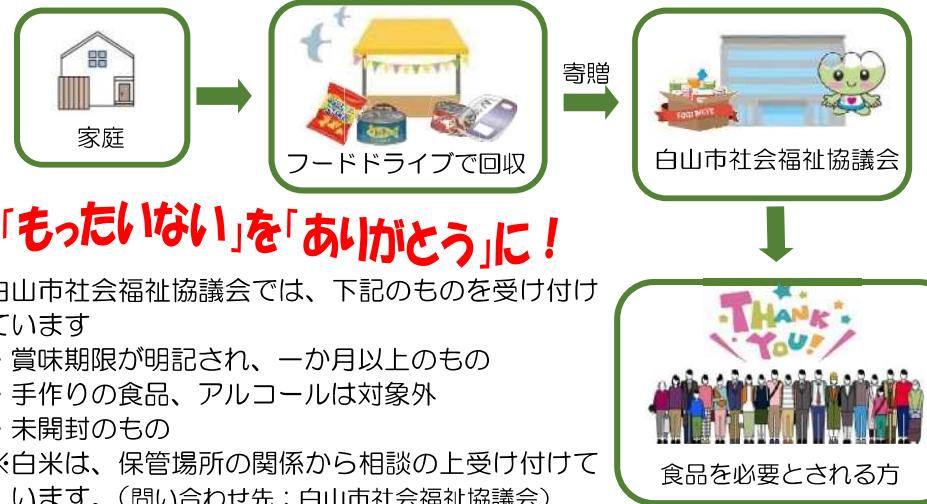
(株)スパートル橋本昌子代表取締役様のお声かけで、珠洲市役所から『能登棚田米こしひかり』をいただくことができました。

白山市内の食材提供協力者の皆さんはじめいろいろな方が白山市のこども食堂を支え応援してくださっています。



フードドライブを実施してみませんか？

フードドライブとは、家庭で眠っている不要食品を寄贈していただき、食品の支援を必要としている福祉団体・施設に無償で提供する活動です。家庭での食品ロスを見直すきっかけとしても注目されています。



こども食堂ネットワーク支援研修会を開催

児童心理カウンセラーであり保護司である作本文枝氏を講師にお招きし「なぜ今、こども食堂なのか」を中心に、現代の子ども達が直面している厳しい現実についてお話しを伺いました。人と会話をしながら温かい食事をとることがほとんどないという生きづらさ、家庭では十分な食事をとることができないという生きづらさなど、その現実は単純なものではないという実態の数々。その現実に気付くことができる距離にいる大人達は「もうこれ以上放っておけない」という思いをもって様々な気付きを仲間と分かち合い、場所の確保や食材の確保など、知恵を持ち寄り地域のニーズに応える身近な存在として力を発揮していくことが求められていました。誰かの為の支援ではなく、どんな人でも安心して立ち寄れる場所を作ること、子どもの生活困難の改善、解決にむけた子ども本位の「地域交流拠点」であることをめざし、楽しく明るく活動を発展させていくことを学びました。



感染症の影響により白山市こども食堂補助金事業が緩和されました。

(令和3年11月)

「こども食堂」の運営において、新型コロナ感染予防対策が十分に行えない環境であったり、緊急事態宣言等が発令されたりすることにより、予定していた年間回数に至らない状況が見受けられます。また、地元応援隊の皆さんや個人からいただいた食材を「食事の提供」として使いきれない場合もあります。

そこで、子どもの見守り・居場所づくりとして重要なこども食堂の運営支援を行うため、白山市では、こども食堂補助金事業の実施要件を一時的に緩和されることになりました。



●事業の主要な実施要件

- ・**1年に5回以上**、定期的かつ継続的に実施する予定があること。
- ・子どもに無料または低料金で**食事を提供できること**。
- ・参加者及びスタッフの傷害保険に加入し、安全確保に努めること。
- ・調理開始前には、必ず衛生管理チェックを行うこと。
- ・同一年度にこの事業における他の補助金等の交付は受けていないこと。

赤字箇所が緩和されました。



いずれも、感染症による緊急事態宣言等で実施できなかった場合のみ適用されます。

- ◎1年間に「5回以上」とされている実施回数については「**1回以上**」とし、実施回数により補助金を算定する。(特例算定)
- ◎「食事の提供」については、「**食材等の配布・お弁当の配布**」も含められるものとする。

詳細については、白山市健康福祉部こども子育て課までお問い合わせください。

TEL 076-274-9527

こども食堂の活動を理解するに当たり、適宜ご参照ください。

syakyo-info@hakusansi-syakyo.jp

(白山市社会福祉協議会ホームページ こども食堂)

<http://www.mow.jp/archive.htm>

(一般社団法人全国食支援活動協力会ホームページ)

<http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/kodomosyokudo.html>

(農林水産省ホームページ)



おわりに・・・

コロナ禍となり、私達の生活は大きく変わりました。白山市内のこども食堂も時間の短縮やお弁当での食事提供など、細心の注意を払いながら運営してきました。そこには、コロナ禍だからこそ子どもの居場所、人とのつながりや絆、地域の交流が大切だと思う食堂運営者と地元応援隊の皆様の思いがあります。

今回は、工夫しながら開催してきた5箇所のこども食堂を紹介させていただきました。まだまだ先の見えない新型コロナウイルスの感染状況ではありますが、待ってはくれない子どもの育ちや伝えたい思いに寄り添い、お腹も心も満腹になるこども食堂を継続して運営されることを願っています。

冊子作成にあたり、ご協力いただきました各こども食堂、協力団体の皆様に感謝申し上げます。

白山市社会福祉協議会 こども食堂ネットワーク



発行年月 令和4年3月

石川県白山市倉光八丁目16番地1

白山市社会福祉協議会

こども食堂ネットワーク

TEL (076) 276-3151

FAX (076) 276-4535